

## サツキの育て方

サツキは関東から九州に分布するツツジ科ツツジ属の常緑低木で、日本で最も多く植えられている庭木です。暑さや寒さに強く、公園や街路に、そして盆栽等にも多く使われています。水辺などに自生しますが、乾燥にも比較的強い樹木です。開花は4月末から5月です。

### ■植付け

#### 【地植え】

サツキは連作障害を起こします。サツキやツツジが植わっていた場所を避けるか、同じ場所に植える場合は土を入れ替えるようにしましょう。植え込む際には、根鉢の土は出来るだけ落とします。

土に鹿沼土とピートモスをすきこんでください。植えた後は鶏糞や固形の油粕を土の上に置いて軽く土をかけ、水をたっぷりかけてください。

#### 【鉢植え】

鉢で育てる場合は市販のサツキ用の土か、花木用培養土に鹿沼土と未調整のピートモスを混合した用土を使用します。また、赤玉土小粒5、鹿沼土小粒3、未調整のピートモス2の割合で混合した用土を使用することもできます。植えた後、鉢土の上に鶏糞や固形の油粕を土の上に置いて軽く土をかけておきます。植え付けた後は、鉢底から濁った水が出なくなるまで、たっぷり水やりしてください。

### ■管理

サツキは風通しの良い日当たりを好みますが、1日に2～3時間の日光でも十分育ちます。

夏の乾燥は株を傷めますので、長期間、雨が降らない場合は地植えの場合でも水やりしてください。

冬期は水を控えめにします。

鉢植えの場合は、土が乾いたら水をたっぷりやりましょう。

夏は半日陰、そのほかの時期は日当たりのよい場所に置きます。冬は、乾燥した寒風の当たらない場所へ移動させるのが良いでしょう。

### ■肥料

肥料は花後（お礼肥）、秋の10月頃、冬の2月頃（寒肥）の3回施します。緩効性肥料を置き肥するのが良いでしょう。

### ■剪定

用途に則して刈り込んで樹形を仕立てます。

サツキは花が終わるとすぐに翌年の花芽を形成するため、剪定は花が終わったらすぐに行います。8月以降に剪定すると、翌春は花が咲きませんので注意しましょう。

### ■病気・害虫

環境によってツツジグンバイムシ、ハダニ（アカダニ）が多発して葉に白点が入ることがあります。また、シンクイムシ、チャハマキムシ、ルリチョウレンジバチなどによる被害も発生します。